

PASSION
FOR THE
BEST

ダイワのグローバル・アウトルック － マーケット天気図 －

2012年5月

大和証券

Daiwa Securities

今月のポイント・各国マーケットの主なポイント

今月のポイント

- ① IMFは12・13年世界経済成長率予想を上方修正。世界経済の回復を背景に中長期的なリスク選好は継続
- ② ただし、目先は不透明要素が残る。政治イベントが続く欧州情勢に金融市場は神経質な展開となる可能性
- ③ また、米国景気は回復が継続しているが、現状は市場の期待が实体经济の回復よりも先行している模様
- ④ 中国は景気減速感が強まっている。更なる減速を回避すべく、追加金融緩和・財政政策の発動が注目される
- ⑤ 新興国・資源国では、実質金利がプラス、財政面の不安が小さい株式市場がより堅調な推移が想定される

各国マーケット 主なポイント

株式市場


- ① 日本 






今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~今期の企業収益はV字回復が見込まれる。割安な日本株を評価する動きが続こう~
- ② 中国 






今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~景気減速、インフレ鈍化が鮮明となり、金融・財政面からの景気刺激が期待される~
- ③ 豪州 





今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~インフレ圧力が大きく後退。利下げ⇒景気刺激への期待が株価を押し上げよう~

為替市場

- ① 南アフリカ 

今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~インフレ圧力がじわりと高まっており、利上げへの思惑が通貨上昇の手掛かりに~
- ② カナダ 

今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~中銀総裁は自国経済の回復に自信を示す~
- ③ メキシコ 

今回(4/27): 現状  → 先行き  (前回(4/16): 現状  → 先行き )
 ~米景気回復と他新興国通貨に比べて低水準のペソ相場を背景に輸出が堅調~

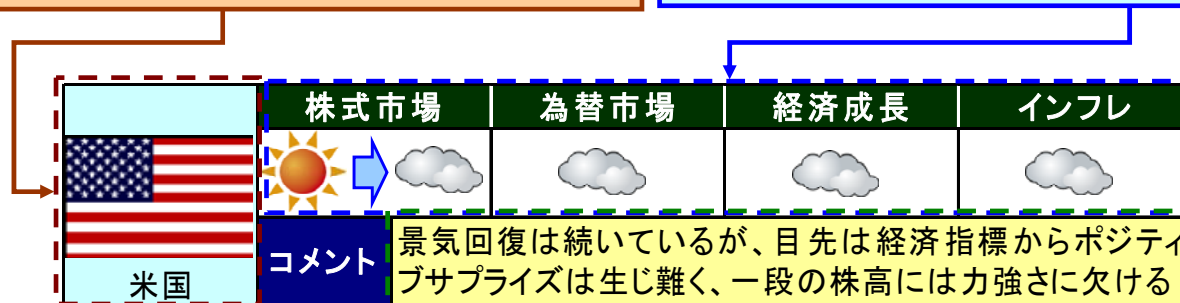
マーケット天気図(国別評価、次ページ)の見方

① 国旗・国名

* 背景の色はグループ分け
 青(グループA): 先進国
 赤(グループB): 日本を除くアジア、新興国
 を表している

② 現状判断および見通し


各項目共に左側の天気が現状判断、
 右側が先行き判断を示している。
 (左右同判断の場合は1つマークで表している)
 * 同項目の詳細については下段を参照








③ コメント:
 各マーケットの
 注目ポイントを
 一言コメントで
 表記

判断項目	株式市場、為替市場		経済成長		インフレ	
	現状判断	先行き判断	現状判断	先行き判断	現状判断	先行き判断
	それぞれのグループ(A、B)における株価、為替(対円)の「直近3カ月間」の相対パフォーマンス	それぞれのグループ(A、B)における株価、為替(対円)の「6カ月前」の相対パフォーマンス	「現状」の経済成長率と「過去」のトレンドの比較	「1年先」の予想経済成長率と「現状」の経済成長率の比較	「現状」のインフレ率と「過去」のトレンドの比較	「1年先」の予想インフレ率と「現状」のインフレ率との比較
	アウトパフォーマンス (為替は円安)	アウトパフォーマンス (為替は円安)	高成長	加速 (高水準)	インフレ率 下ブレ	インフレ率改善 (低水準)
	ニュートラル	ニュートラル	巡航速度	巡航速度	過去の トレンド並み	過去の トレンド並み
	アンダーパフォーマンス (為替は円高)	アンダーパフォーマンス (為替は円高)	低成長	成長鈍化 (低水準)	インフレ率 上ブレ	インフレ率加速 (高水準)

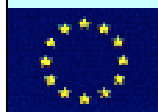




マーケット天気図①(国別評価)






	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
		-		
日本	コメント 円高の一服や企業業績の回復期待などを手掛かりに、割安な日本株を再評価する動きは続こう			



	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
NZ	コメント 緩和的な金融政策が景気を下支えし、株・通貨は堅調に推移している。中銀総裁は追加利下げの可能性を示唆			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
米国	コメント 景気回復は続いているが、目先は経済指標からポジティブサプライズは生じ難く、一段の株高には力強さに欠ける			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
ブラジル	コメント 中銀は4月利下げ後も追加緩和の可能性を示唆、過去最低金利の更新が視野に。株式市場への資金流入を期待			






	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
ユーロ圏	コメント 仏大統領選やギリシャ総選挙など注目イベントが続く。株式・通貨共に当面は神経質な展開が想定される			






	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
メキシコ	コメント 米景気回復と通貨安を背景に輸出が堅調、個人消費も改善傾向が強まっている。インフレ率も落ち着いて推移			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
英国	コメント インフレへの警戒感から、追加金融緩和は踏み切り難い模様。現状の緩慢な景気回復に力強さが備わるか注目			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
南アフリカ	コメント 政策金利は据え置きが続く中、中銀はインフレ注視の姿勢を強化。利上げ観測が高まればランドのプラス材料			


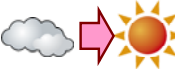


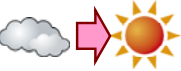
	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
カナダ	コメント 中銀総裁は、欧州問題など対外的な悪影響が弱まっているとし、経済の回復は想定より力強いとの認識を示す			






	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
トルコ	コメント 株・通貨共に投資家のリスク選好局面で上昇し易い。インフレ沈静化の兆しが出れば、一段高が期待されよう			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
豪州	コメント 早期利下げの可能性が高い。利下げは短期的に株高・通貨安要因だが、景気回復感が強まれば通貨も上昇へ			


	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
中国	コメント 1-3月期実質GDPは前年同期比+8.1%へ成長鈍化。近々、金融緩和・財政政策が発動されると想定			




マーケット天気図②(国別評価)





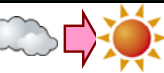
	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
インド	コメント 1、3月の預金準備率の引き下げに続いて、4月に3年ぶりに利下げを実施、景気下支えへの期待高まる			




	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
フィリピン	コメント 内需を牽引役に経済堅調。それを評価して株価は上昇基調にあるが、足元で過熱感が強く、そろそろ上昇一服か			






	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
ロシア	コメント 大統領選挙前に打ち出された景気刺激策により景気は持ち直し。原油価格や金融政策の動向が今後の注目点			





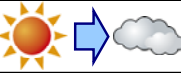
	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
マレーシア	コメント 輸出の約4割を占める電子部品の回復が鍵。最近のインフレ率は鈍化傾向にあり、金融緩和余地が垣間見える			


	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
韓国	コメント 4月総選挙は与党が事前予想を覆して過半数を確保。今後、政策面としては財閥にとって逆風になる可能性			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
タイ	コメント 経済は昨年の洪水からのV字回復局面。ただし、株価は既に洪水発生前の水準を上回っており過熱感が台頭			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
台湾	コメント 世界経済の回復感が強まれば、IT関連輸出に強みがある同国経済にプラスとなろう			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
シンガポール	コメント インフレ率はやや高めに推移し、金融政策は引締め(通貨高誘導)気味。株式市場にとっては逆風の流れ			

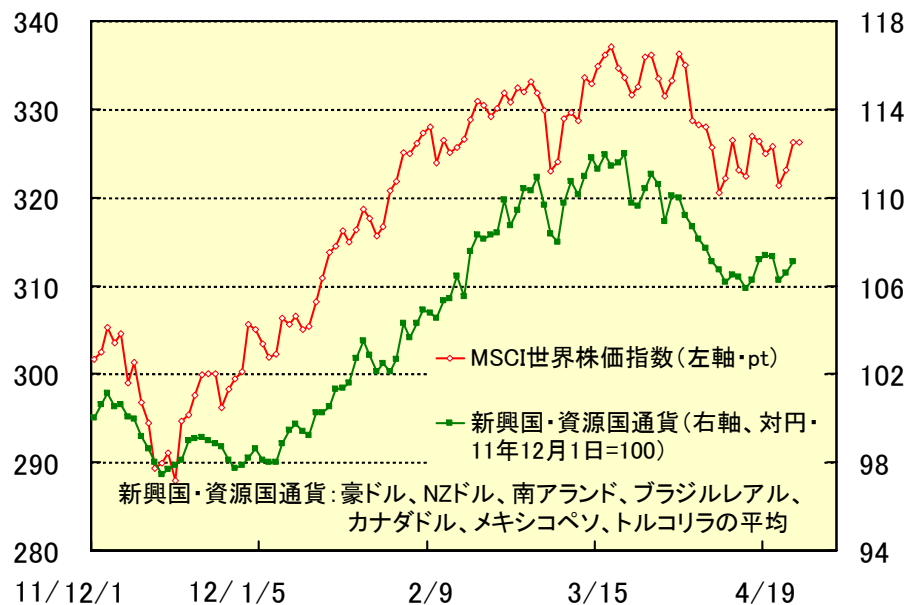
	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
インドネシア	コメント 政府の事実上の燃料価格引き上げ案を議会は却下。個人消費にとって最大の懸念材料は一旦解消へ			

	株式市場	為替市場	経済成長	インフレ
				
ベトナム	コメント ここも株価は反騰局面が継続。インフレは沈静化の兆しが強まり、实体经济の悪化も歯止めがかかってきた模様			

今月の注目ポイント①

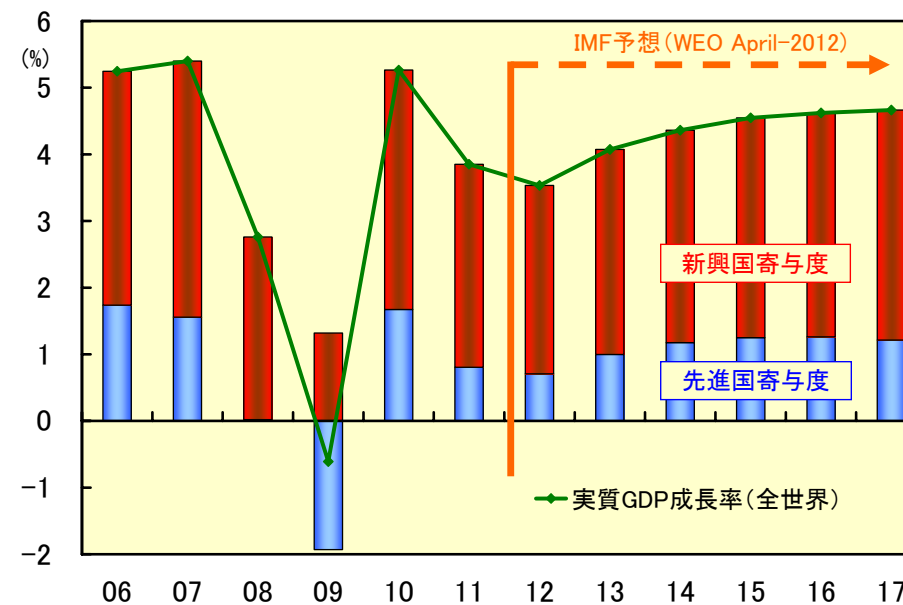
- リスク選好を背景に、昨年末頃より続いた世界的な株高・通貨高(対円レート)が、ここもと一服している。背景は米国経済や欧州債務問題、中国経済などに関して、先行き不透明感が高まったこと。
- しかし、4/17にIMFが発表した世界経済見通しでは、12・13年の実質GDP成長率予想(全世界)が前回(12年1月)より上方修正された。新興国の経済成長を牽引役に、世界経済は順調な回復を辿るといった見方がされている。後述するようなリスクファクターに、目先は神経質になる可能性があるものの、中長期的に見たリスク選好の流れは続くものと想定される。

MSCI世界株価指数と新興国・資源国通貨



(出所)各種資料より大和証券作成

世界経済成長見通し



(出所)IMF「World Economic Outlook」より大和証券作成

今月の注目ポイント②

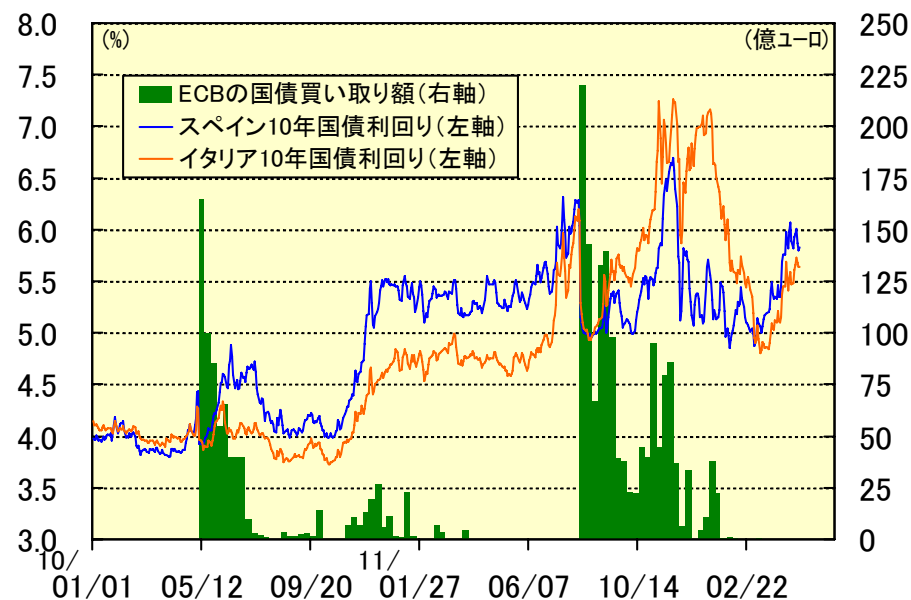
- 3月にスペイン、4月にイタリアが、それぞれ財政再建の進捗が想定より後ズレする可能性を表明。そうした中、欧州債務問題への懸念が高まり、両国の国債利回りは再度、上昇している。
- 目先、欧州では重要イベントが数多く控えている。中でも注目されるのは、5/6に控える仏大統領選挙(決選投票)、ギリシャ総選挙である。これらの選挙結果は今後の欧州債務問題打開の鍵を握る。
- ただ、ECBが2度に亘って行った3年物資金供給オペにより流動性は満たされているため、金融機関が即座に資金不足になるリスクは小さい。昨年後半のような危機が繰り返されることはないだろう。

欧州の主なスケジュール(5月)

日付	国(地域)	イベント
3日(木)	スペイン ユーロ圏	国債入札 ECB理事会
6日(日)	フランス ギリシャ ドイツ	大統領選挙(決選投票・予定) 総選挙 州議会選挙(シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州)
11日(金)	欧州	欧州委員会が春季経済予測を発表
13日(日)	ドイツ	州議会選挙 (ノルライン・ヴェストファーレン州・独人口最大の州)
14日(月)	ユーロ圏	非公式ユーロ圏財務相会合(ユーロ・グループ)
15日(火)	欧州 ユーロ圏	EU経済・財務相理事会(ECOFIN) 1-3月期GDP統計
17日(木)	スペイン	国債入札
25日(金)	ドイツ	独連邦議会が欧州安定メカニズム(ESM)とEU財政協定に関する投票を実施(予定)
31日(木)	アイルランド スペイン	EU財政協定に関する国民投票を実施 銀行が新自己資本規制の達成に合併が必要かを回答する期限

(出所)各種資料より大和証券作成

ECB国債買い取り額とイタリア・スペイン国債利回り

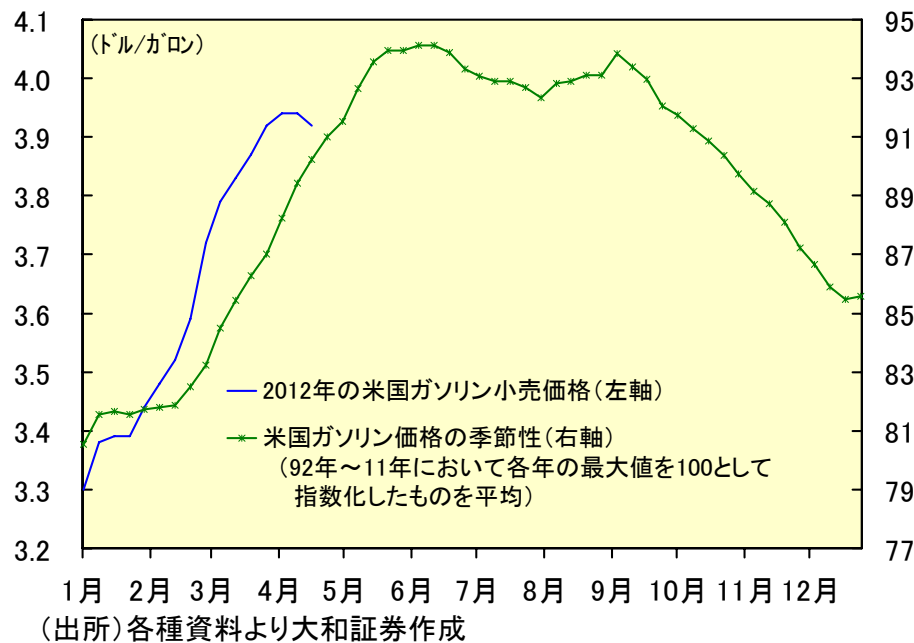


(出所)各種資料より大和証券作成

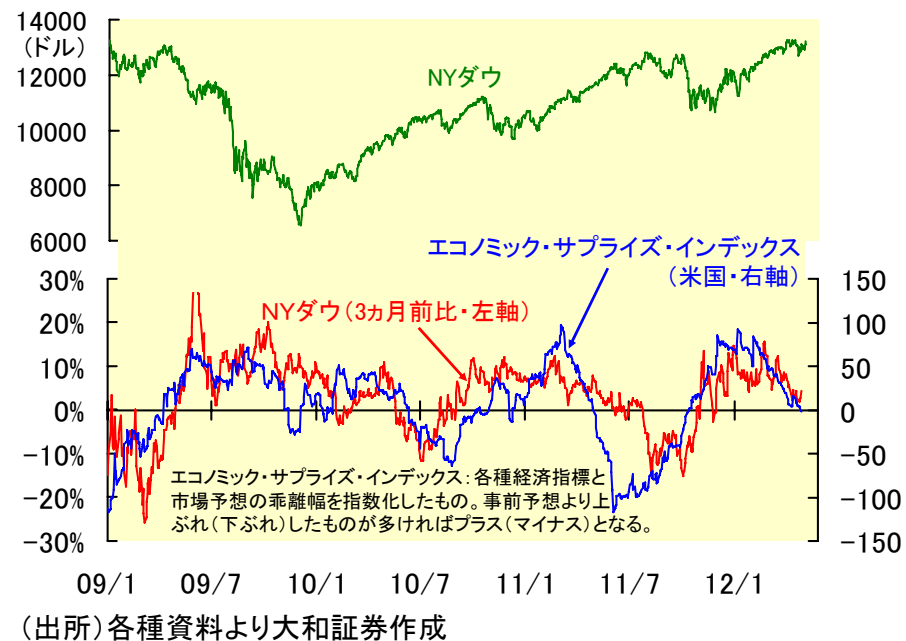
今月の注目ポイント③

- 米国ではガソリン価格の高騰が、足元で堅調に推移する個人消費を抑制するリスクが指摘されている。足元のガソリン小売価格は水準こそ高いものの、季節性から見れば5月以降は頭打ちになる傾向がある。ガソリン価格が大幅上昇しないのであれば、消費の先行きを危ぶむ必要はなかろう。
- 昨年末以降、米国株は市場予想を上回る強い経済指標を手掛かりに上昇してきた。そうした中で、市場参加者の間では、米国景気の回復に強気な見通しが増え、当面、経済指標からはポジティブ・サプライズが生じ難いと見られる。米国株が一段の上昇を目指すには多少の時間が必要か。

ガソリン価格の季節性



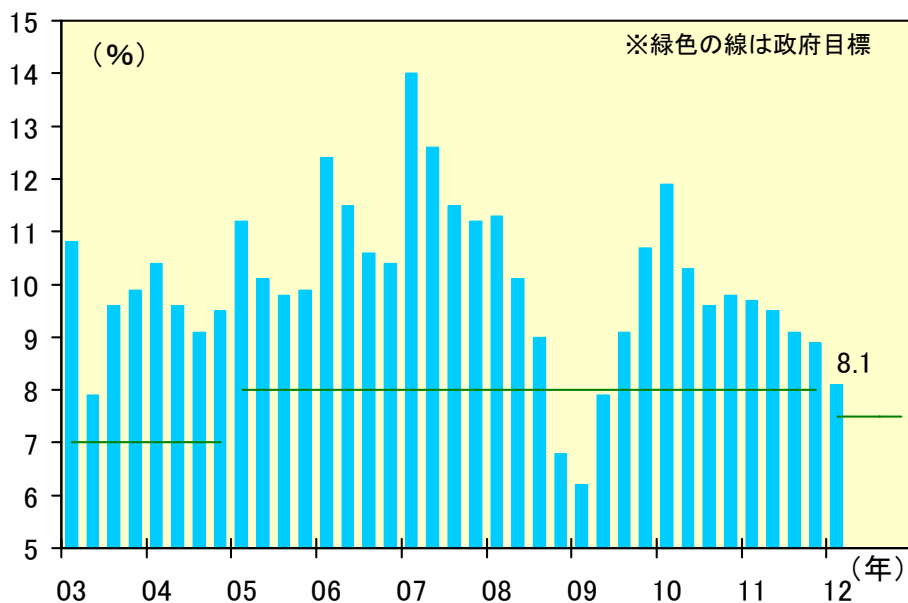
エコミック・サプライズ・インデックスとNYダウ



今月の注目ポイント④

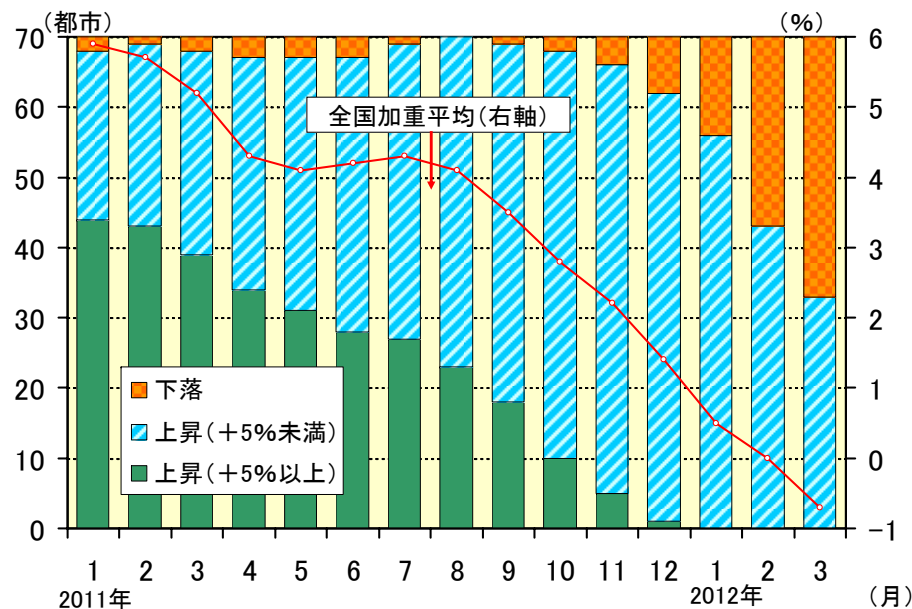
- 中国12年1-3月期実質GDP成長率は前年同期比+8.1%と5四半期連続で伸び率が鈍化。欧州向け輸出などを中心に外需が低迷、これまでの金融引締めの影響により固定資産投資も減速した。また、3月主要70都市新築住宅価格(全国加重平均)は政府が住宅価格抑制策を導入して以来、初めて前年同月比マイナスとなった。同国の景気減速感は徐々に高まっており、政府当局はリーマン・ショック後に実施されたような大胆な景気刺激策へ、比較的早いタイミングで転換していく可能性があるだろう。

中国実質GDP成長率(前年同期比)



(出所)中国国家统计局などより大和証券作成

中国新築住宅価格と都市別騰落率分布



(注)変化率は前年同月比。全国加重平均はロイター算出

(出所)中国国家统计局、トムソン・ロイター

今月の注目ポイント⑤

- 世界的にインフレが緩和傾向にある中、主要国において金融緩和の動きが広まっている。新興国・資源国では4/17にインドが09年4月以来の利下げに踏み切った。また、中国では昨年12月と今年2月に預金準備率を引き下げ、ブラジルは昨年8月以降、6会合連続で利下げを実施している。
- 新興国・資源国は、実質金利がプラスの国が多くあり、こうした国では依然として更なる金融緩和余地を残している。更に、財政面についても健全な国が多い。金融・財政の両面から景気刺激が期待される国ほど、株式市場の先高観が強いと想定されよう。

主要国の政策金利推移

	11年										12年						直近の政策金利	実質金利
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
● 日本	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	23	15	0.10%	▲0.40%
🇺🇸 米国	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		20	0.25%	▲2.45%
🇪🇺 ユーロ圏	↑	→	→	↑	→	→	→	↓	↓	→	→	→	→	→	3	6	1.00%	▲1.70%
🇬🇧 英国	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	10	7	0.50%	▲3.00%
🇨🇦 カナダ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		5	1.00%	▲0.90%
🇦🇺 豪州	→	→	→	→	→	→	→	↓	↓	→	→	→	→	→	1	5	4.25%	+2.65%
🇳🇿 NZ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		14	2.50%	+0.90%
🇧🇷 ブラジル	↓	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	30		9.00%	+3.76%
🇲🇽 メキシコ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	27	8	4.50%	+0.77%
🇿🇦 南アフリカ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	24		5.50%	▲0.50%
🇹🇷 トルコ	→	→	→	→	↓	→	→	→	→	→	→	→	→	→	29	21	5.75%	▲4.68%
🇨🇳 中国	↑	→	→	↑	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→			6.56%	+2.96%
🇮🇳 インド	→	↑	↑	↑	→	↑	↑	→	→	→	→	→	→	↓	18		8.00%	+1.11%
🇰🇷 韓国	→	→	↑	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	10	8	3.25%	+0.65%
🇮🇩 インドネシア	→	→	→	→	→	→	↓	↓	→	→	→	↓	→	→	10	12	5.75%	+1.78%
🇹🇦 タイ	↑	→	↑	↑	↑	→	→	↓	→	→	↓	→	→	2	13	3.00%	▲0.45%	
🇹🇼 台湾	→	→	↑	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	28		1.88%	+0.67%
🇵🇭 フィリピン	→	↑	→	→	→	→	→	→	→	↓	↓	↓	↓	14		6.00%	+3.40%	
🇲🇾 マレーシア	→	↑	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	11		3.00%	+0.90%	

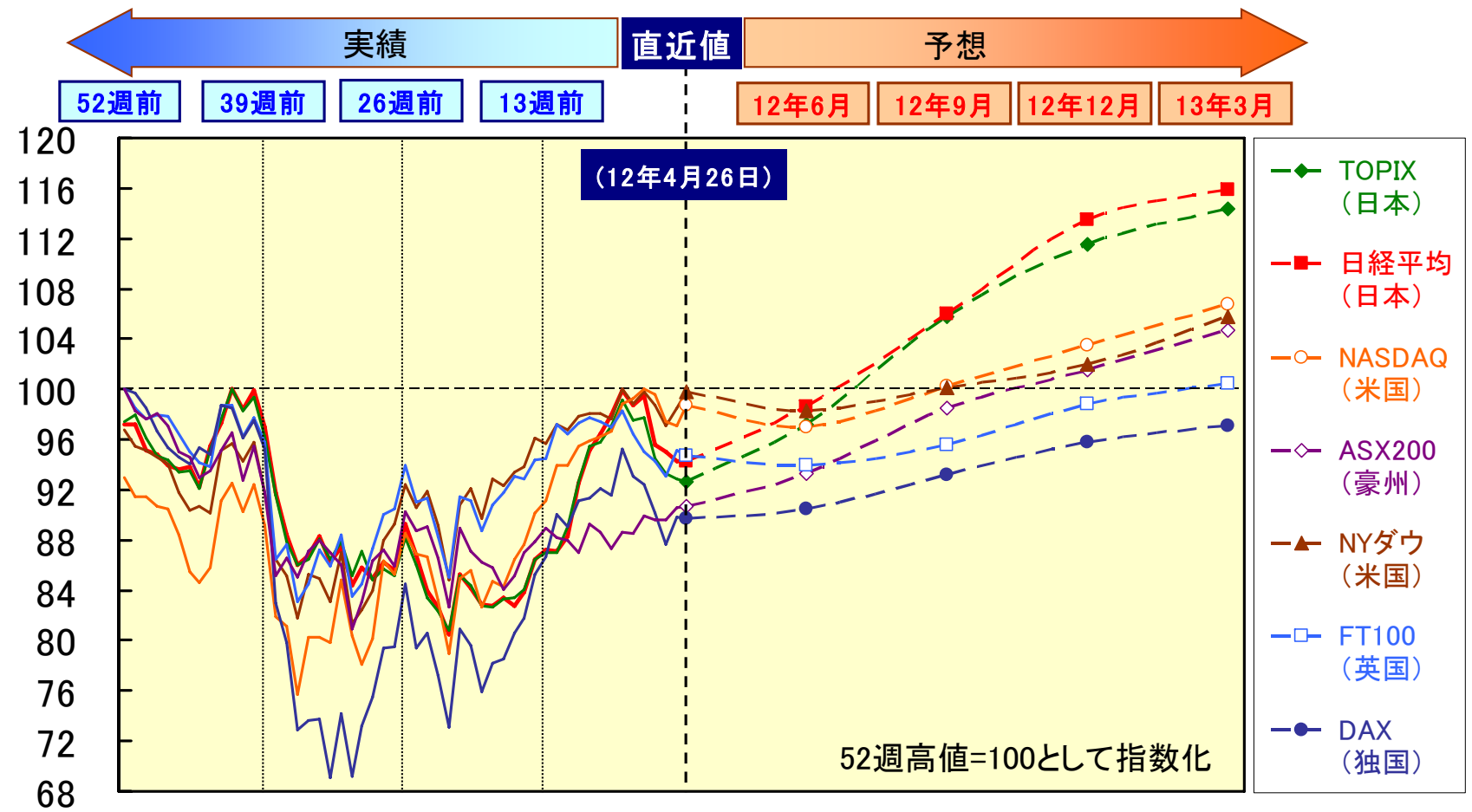
表の見方
 (政策金利の方向性)
 ↑ : 利上げ
 → : 据え置き
 ↓ : 利下げ
 □ : 金融政策決定
 会合開催予定日
 (政策金利発表日ベース)

注:
 ・トルコの政策金利は1週間物
 レボ金利(ベンチマーク・レボ金利)
 ・中国の政策金利は1年物貸
 出基準金利
 ・実質金利
 =直近政策金利
 -直近月消費者物価上昇率
 ・データは全て4/27時点

(出所) 各種資料より大和証券作成

予想騰落率ランキング①(先進国株価)

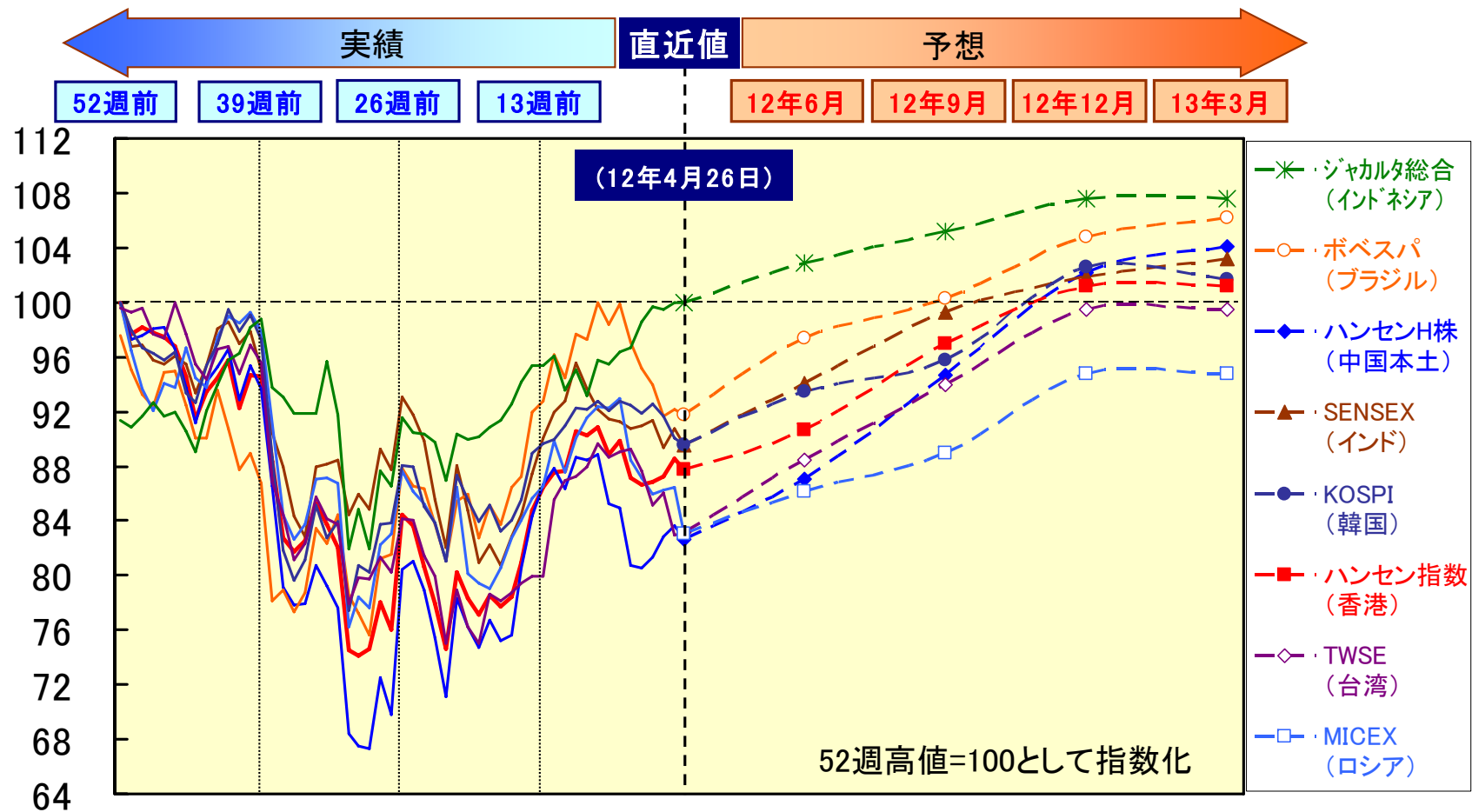
米国株は短期的にやや上値の重い展開か。日本株は米国株をアウトパフォームすると想定
割安感の強い豪州株は堅調な推移を想定。追加金融緩和が実際されれば株価上昇のきっかけとなる。



出所:各種資料 予想は大和証券

予想騰落率ランキング② (新興国株価)

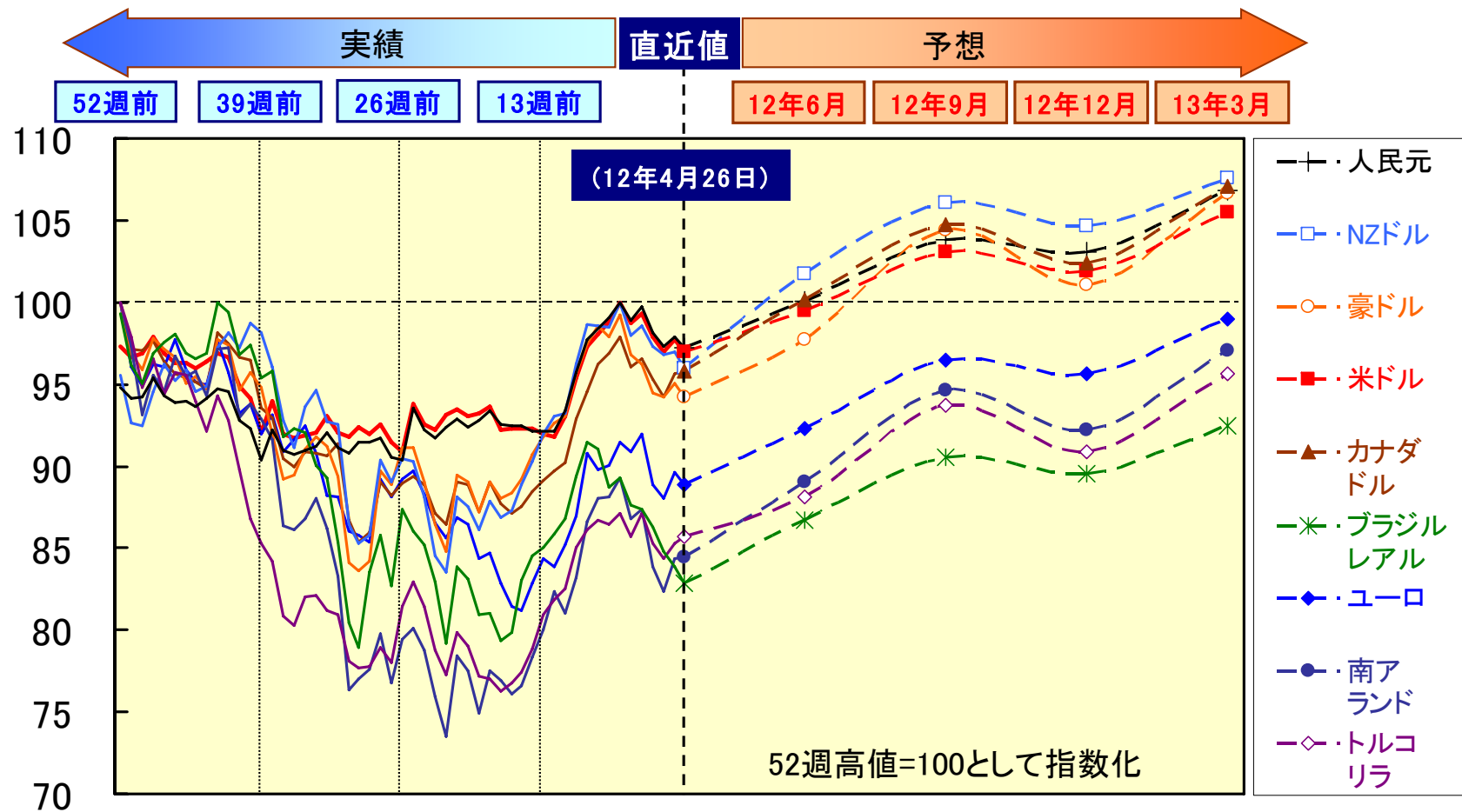
インド株、中国株は金融緩和と景気刺激策の発動期待が株価を下支えしよう
 アジア新興国株式市場は、経済堅調かつ実質金利がプラスであるインドネシアやフィリピンに注目



出所:各種資料 予想は大和証券

予想騰落率ランキング③ (対円相場)

米ドルは景気回復・金利上昇を手掛かりに緩やかなドル高が予想される
新興国・資源国通貨はリスク許容度との相関性が強い中で出遅れ感のあるカナダドルに注目



出所:各種資料 予想は大和証券

(参考データ) 四半期予想レンジ①



先進国株価指数（日本、米国、欧州など）

		直近値 (4月26日)	→予想				騰落率① (直近値⇒ 12年9月末値)	騰落率② (直近値⇒ 13年3月末値)
			12年 4-6月	12年 7-9月	12年 10-12月	13年 1-3月		
日経平均 (円)	期末値	9,561.83	10,000	10,750	11,500	11,750	+12.4%	+22.9%
	(高値)	-	(11,500)	(12,000)	(12,500)	(12,750)	-	-
	(安値)	-	(9,000)	(10,000)	(10,500)	(10,750)	-	-
TOPIX (pt)	期末値	810.10	850	925	975	1,000	+14.2%	+23.4%
	(高値)	-	(1,000)	(1,050)	(1,100)	(1,125)	-	-
	(安値)	-	(775)	(850)	(900)	(925)	-	-
NYダウ (ドル)	期末値	13,204.62	13,000	13,250	13,500	14,000	+0.3%	+6.0%
	(高値)	-	(13,500)	(13,500)	(14,500)	(15,000)	-	-
	(安値)	-	(11,500)	(12,000)	(10,500)	(10,500)	-	-
NASDAQ (pt)	期末値	3,050.61	3,000	3,100	3,200	3,300	+1.6%	+8.2%
	(高値)	-	(3,250)	(3,250)	(3,500)	(3,600)	-	-
	(安値)	-	(2,450)	(2,550)	(2,150)	(2,150)	-	-
FT100 (pt)	期末値	5,748.72	5,700	5,800	6,000	6,100	+0.9%	+6.1%
	(高値)	-	(6,100)	(6,200)	(6,400)	(6,500)	-	-
	(安値)	-	(5,200)	(5,300)	(5,500)	(5,600)	-	-
DAX指数 (pt)	期末値	6,739.90	6,800	7,000	7,200	7,300	+3.9%	+8.3%
	(高値)	-	(7,400)	(7,800)	(8,000)	(8,200)	-	-
	(安値)	-	(6,000)	(6,400)	(6,600)	(6,700)	-	-
豪州 ASX200 (pt)	期末値	4,375.20	4,500	4,750	4,900	5,050	+8.6%	+15.4%
	(高値)	-	(4,800)	(5,100)	(5,200)	(5,300)	-	-
	(安値)	-	(4,000)	(4,300)	(4,400)	(4,700)	-	-

出所:各種資料 予想は大和証券

(参考データ) 四半期予想レンジ②

新興国株価指数

		直近値 (4月26日)	→予想				騰落率① (直近値⇒ 12年9月末値)	騰落率② (直近値⇒ 13年3月末値)
			12年 4-6月	12年 7-9月	12年 10-12月	13年 1-3月		
香港	期末値	20,810	21,500	23,000	24,000	24,000	+10.5%	+15.3%
ハンセン指数	(高値)	-	(23,000)	(24,000)	(25,000)	(24,500)	-	-
	(安値)	-	(20,000)	(21,000)	(22,000)	(22,000)	-	-
中国	期末値	10,912	11,500	12,500	13,500	13,750	+14.6%	+26.0%
ハンセンH株指数	(高値)	-	(12,000)	(13,000)	(14,000)	(14,000)	-	-
	(安値)	-	(10,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	-	-
インド	期末値	17,131	18,000	19,000	19,500	19,750	+18.0%	+15.3%
SENSEX30	(高値)	-	(19,000)	(20,000)	(20,500)	(20,000)	-	-
	(安値)	-	(16,000)	(17,000)	(18,500)	(18,500)	-	-
ブラジル	期末値	62,198	66,000	68,000	71,000	72,000	+9.3%	+15.8%
ボベスパ指数	(高値)	-	(70,000)	(72,000)	(75,000)	(76,000)	-	-
	(安値)	-	(60,000)	(62,000)	(65,000)	(66,000)	-	-
ロシア	期末値	1,447	1,500	1,550	1,650	1,650	+7.1%	+14.0%
MICEX指数	(高値)	-	(1,650)	(1,700)	(1,750)	(1,750)	-	-
	(安値)	-	(1,400)	(1,450)	(1,500)	(1,550)	-	-
韓国	期末値	1,964	2,050	2,100	2,250	2,230	+6.9%	+13.5%
KOSPI	(高値)	-	(2,100)	(2,200)	(2,300)	(2,250)	-	-
	(安値)	-	(1,800)	(1,900)	(2,000)	(1,900)	-	-
台湾	期末値	7,521	8,000	8,500	9,000	9,000	+13.0%	+19.7%
TWSE	(高値)	-	(9,000)	(9,500)	(10,000)	(9,500)	-	-
	(安値)	-	(7,000)	(7,500)	(8,000)	(8,500)	-	-
インドネシア	期末値	4,180	4,300	4,400	4,500	4,500	+5.3%	+7.6%
ジャカルタ総合指数	(高値)	-	(4,500)	(4,600)	(4,700)	(4,700)	-	-
	(安値)	-	(3,800)	(3,900)	(4,000)	(4,000)	-	-

出所:各種資料 予想は大和証券

(参考データ) 四半期予想レンジ③

為替相場 (対円レート)

		直近値 (4月26日)	→予想				騰落率① (直近値→ 12年9月末値)	騰落率② (直近値→ 13年3月末値)
			12年 4-6月	12年 7-9月	12年 10-12月	13年 1-3月		
米ドル	期末値	80.88	83.00	86.00	85.00	88.00	+6.3%	+8.8%
	(高値)	-	(87.00)	(89.00)	(88.00)	(91.00)	-	-
	(安値)	-	(79.00)	(81.00)	(80.00)	(83.00)	-	-
ユーロ	期末値	106.84	111.00	116.00	115.00	119.00	+8.6%	+11.4%
	(高値)	-	(114.00)	(120.00)	(119.00)	(123.00)	-	-
	(安値)	-	(102.00)	(108.00)	(107.00)	(111.00)	-	-
カナダドル	期末値	82.30	86.00	90.00	88.00	92.00	+9.4%	+11.8%
	(高値)	-	(87.00)	(91.00)	(90.00)	(94.00)	-	-
	(安値)	-	(77.00)	(81.00)	(80.00)	(84.00)	-	-
豪ドル	期末値	83.87	87.00	93.00	90.00	95.00	+10.9%	+13.3%
	(高値)	-	(91.00)	(95.00)	(94.00)	(98.00)	-	-
	(安値)	-	(81.00)	(85.00)	(84.00)	(88.00)	-	-
NZドル	期末値	66.03	70.00	73.00	72.00	74.00	+10.6%	+12.1%
	(高値)	-	(72.00)	(76.00)	(74.00)	(78.00)	-	-
	(安値)	-	(64.00)	(68.00)	(66.00)	(70.00)	-	-
南アランド	期末値	10.43	11.00	11.70	11.40	12.00	+12.1%	+15.0%
	(高値)	-	(11.30)	(12.00)	(11.90)	(12.50)	-	-
	(安値)	-	(9.80)	(10.50)	(10.40)	(11.00)	-	-
トルコリラ	期末値	45.73	47.00	50.00	48.50	51.00	+9.3%	+11.5%
	(高値)	-	(49.00)	(52.00)	(51.00)	(54.00)	-	-
	(安値)	-	(42.00)	(45.00)	(44.00)	(47.00)	-	-
ブラジルレアル	期末値	43.02	45.00	47.00	46.50	48.00	+9.2%	+11.6%
	(高値)	-	(48.00)	(50.00)	(50.00)	(52.00)	-	-
	(安値)	-	(42.00)	(44.00)	(44.00)	(45.00)	-	-
人民元	期末値	12.83	13.20	13.70	13.60	14.10	+6.8%	+9.9%
	(高値)	-	(13.50)	(14.00)	(14.00)	(14.50)	-	-
	(安値)	-	(12.50)	(13.00)	(13.00)	(13.50)	-	-

出所:各種資料 予想は大和証券

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750% (但し、最低 2,625 円) の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかには為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価(購入対価・売却対価)のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計 5%超保有しているとして大量保有報告を行っている会社は以下の通りです。(平成 24 年 4 月 13 日現在)

日本ドライケミカル(1909) ラクオリア創業(4579) メビオファーム(4580) ツガミ(6101) オカダアイオン(6294) シンニッタン(6319) MCJ(6670) 明星電気(6709) 三社電機製作所(6882) GMB(7214) ティラド(7236) TBK(7277) 新星堂(7415) 大興電子通信(8023) マネーパートナーズ(8732) アストマックス(8734) コスモスイニシア(8844) 大和証券オフィス投資法人(8976) 角川グループホールディングス(9477) 帝国ホテル(9708) パロー(9956) (銘柄コード順)

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、平成 23 年 5 月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社を担当しています。

日本ドライケミカル(1909) 日本M&Aセンター(2127) エス・エム・エス(2175) ダイユーエイト(2662) ブロンコビリー(3091) 物語コーポレーション(3097) 八洲電機(3153) アイセイ薬局(3170) ハウスコム(3275) KLab(3656) ポールトゥウィン・ビットクルーホールディングス(3657) イーブックイニシアティブジャパン(3658) エムアップ(3661) エイチーム(3662) テクマトリックス(3762) ラクオリア創業(4579) カイオム・バイオサイエンス(4583) リブセンス(6054) ウチヤマホールディングス(6059) こころネット(6060) ユニバーサル園芸社(6061) チャーム・ケア・コーポレーション(6062) フェローテック(6890) タカショー(7590) ワキタ(8125) イー・ギャランティ(8771) オリックス不動産投資法人(8954) 大和ハウス・レジデンシャル投資法人(8984) スカイマーク(9204) スターフライヤー(9206) (銘柄コード順)